

令和7年度 横浜市立本町小学校 第2回学校運営協議会 記録

日 時：令和7年9月12日(金) 13:10～14:40

場 所：本町小学校第二音楽室

司 会・記録：事務局

<参加者> 11名

<欠席> 4名

1 校長挨拶

2 授業参観(13:10～13:55)



3 協 議(14:00～14:30)



委員の方から、授業を参観してのご意見・ご感想をいただきました。

●成長の段階で、学んだことがどう生きてくるのか考えさせられた。2年生の授業で「良さ」という言葉が使われていた。大人になってからも「良い」という言葉を頻繁に使うからこそ、定義がどうなのか気になった。地域とかかわる学習は、先生も一緒に自分のこととして考えられると思う。家庭の中で総合のことが話題になっている。子どもが学校で学んだことを親が知ることができている。

この時期(小学生)だからこそ、一つのことに時間をかけて取り組めるのだと思う。皆で作りに上げていく過程で行われる話合いの中で、多様な意見があるということを感じている。友達や先生の話の聞く経験をしているのは、子どもにとってよいことである。

●どちらの先生も時間をかけたことが伝わってきた。子どもがまんべんなく生き生きと発言している。そこに至るまでの先生の準備・枠組みがしっかりしているのだと思う。小人数だからこそ意見を言いやすいのだと思うが、日ごろから雰囲気づくりができているのだろう。

2年生は、目に見えるワークを貼り合っていた。発言がスルーされていなかった。4年生は意見を分類していて、その意図を子ども達に考えさせていた。推測する力を育てる場面として印象的だった。先生が子どもの特性に合わせて授業をしていると感じていた。

●キッズの時の顔を違っていて面白かった。とても集中していた。

2年生は同じ意見でも否定されず意見を言いやすそうな雰囲気だった。先生の的確なフォローがあった。

4年生は子どもたちがみんな手を挙げていた。先生の一言を受け、先を考えながら発言していた。

●授業参観をすること自体が久しぶりでとても新鮮だった。先生が子どもの目線に立って話していた。地域住民として、今後とも学校に協力させていただきたい。来てよかった。

●自分が知っている授業と違った。4年生の授業は机の並び方が会議しやすい形であった。子どもの頃から、このように自分の意見を言える経験をしたり、話し合いの雰囲気味わえたりするのがよいと感じるし、そういう環境を作っているのがよいと感じた。

●授業を見ていて、感心した。考えつかないような発見を子どもがたくさんしていた。どちらのクラスも、とても集中して授業に参加していた。

●今回は、4年生の授業を参観した。子ども達があのような話し合いができるというのは、これまでの積み重ねがあってこそ。学び方を理解して自分のものとして獲得していると感じた。

振り返りの時間に、書く内容や量が子ども達によって個人差が出てしまう。言語の問題もあるので、子どもに応じた支援が先生に求められると感じた。

●9年前、総合を重点的に研究を始めた。学校が分かれて10年経ったら戻ってくるという話が立ち上がり、その時の子ども達のパワー・思いがすごいと感じた。本町には、多くの材がある。これは、とてもありがたいことである。

現在子ども達が多様化しているが、個別に対応する体制を本町は作っている。今後、学級全員で1つのテーマに取り組むのは難しくなってくる。学年でいくつかテーマを用意し、それを選ぶ方法も検討の余地があるのではないだろうか。

●社会のため人生楽しくなってほしいという思いをもって授業をしているのは今も昔も同じである。言われたことをやるだけでなく、何ができるか考えられる人に育てていきたい。子ども達から「いいよね!」「こうしたい!」という思いを引き出したい。また、まちのよさを「これだよ」と言える人になってほしい。そうした教師の願いを、ぜひ保護者・子どもと共有してほしい、むしろ共有しないとイケない。

先生が学級の文化を創っている。それを子ども達が使えようにし、子どもが作った文化を大人が認めていきましょう。

4 今後の予定について

第3回学校運営協議会；全職員が参加してグループ討議

～貴重なご意見を、ありがとうございました～